



耐久

真健美

平成27年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times Augst
マンスリータイムズ 8月号

◆ 登校日と平和学習 New

戦後70年の今年、広島に人類史上初めて原爆が投下された8月6日(木)、登校日を久しぶりに行いました。放送演劇部の朗読をもとに、全校生徒が体育館で平和について考える時間を持ちました。校長先生からは「戦後70年、戦争に巻き込まれずに歩んできた我が国の歩みと、これからの国の安全保障の在り方等についてしっかり考え、自分の意見を表明できる人になってほしい」と講話がありました。併せて、台風11号の影響で実施できていなかった1学期を締めくくる講話も行われ、学校再生改革(耐久Rebirth)における生徒たちの1学期の取組や頑張りを褒めるとともに、今後も中だるみせず歩みを進めてほしいと話されました。その後、1年・2年生は実力テスト、3年生は進路LHRを行いました。



◆ ハイスクール世界サミットin福島に和歌山県代表で参加



国内外の高校生が東日本大震災や原発事故からの復興が進む福島県に集い、エネルギーやまちづくりについて話し合う初の「ハイスクール世界サミットin福島(8/6~8/8)」に、和歌山県代表として、本校2年の中 優太くんと1年の奥林瑞穂さんが参加しました。1日目は、現地視察や聞き取り調査で参加者の理解を深め、2日目は「福島からエネルギーと環境を考える」「福島の再生(まちづくり)を考える」という二つのテーマで討論を行い、最終日は「福島から世界へ発信する私たちの夢」と題したフォーラムで、討論した結果を発表しました。国内から17都道府県・25高校・54名、海外から12カ国20名の合計74名が参加しました。



その後、1年・2年生は実力テスト、3年生は進路LHRを行いました。

◆ 立命館・京都大学オープンキャンパスに参加



進路についてのやる気スイッチを入れることを目的とした大学研究(キャンパス訪問)の第2段として、20日(木)、京都市の立命館大学と京都大学を69名が訪れました。午前中は「Beyond Borders~超えていけRITSUMEIKAN」を掲げる立命館大学で、大学説明や法廷教室の見学等を行いました。午後は、「京都大学サマースクール2015」に参加して、模擬授業(講義)を受講後、大学生との座談会や学内見学を行いました。参加生徒の多くは、伝統ある両大学のアカデミックな雰囲気を感じ、進路希望を叶えようとの意欲を強くしてくれたと思います。



参加生徒の多くは、伝統ある両大学のアカデミックな雰囲気を感じ、進路希望を叶えようとの意欲を強くしてくれたと思います。

◆ 耐久史学館完成 New

今年で開校163年となる耐久の歴史・成果等を展示する「耐久史学館」が、同窓会の支援により、2号館2階(旧美術制作室)に完成しました。耐久高校は私立の学舎を前身とする等、他の県立高校とは異なる生い立ちを有します。その耐久史に関わる資料の収集・保管と、耐久教育の理念を普及・啓発することを目的としています。今後、展示内容をより充実・発展させていくこととなります。先人達の思いや足跡に触れることで、耐久生一人一人が、如何に生きるか、如何に人や社会の中で在るべきかの思いを深めることを期待します。



◆ 耐久高校・学校説明会



本校の学校説明会が29日(土)に開催され、有田郡市はもとより県内各地から、中3生、保護者・教員を含めて416名が参加してくれました。耐久生の活気と前向きさを参加者に感じてもらうために、受付や誘導・案内などで生徒を前面にした説明会を目指しました。マンドリン部のオープニング演奏で幕を開け、学校長より「高校時代にしっかり学び、



様々な経験を積み重ね、いくつになっても夢や志に挑戦する基盤をつくることが重要で、耐久高校は皆さんを3年間で大化けさせる学校を目指しています」との挨拶が行われました。続いて、生徒による学校紹介や留学体験発表、教務部長による教育内容や進路状況の説明等が行われました。その後、体験授業受講と、校内の施設・設備の見学を行いました。保護者と中学校教員を対象にした補足説明や個別相談も行いました。事後アンケートでは、「耐久生がよく動いていた」「内容が分かりやすかった」「体験授業で先生の話が楽しかった」「個別相談等で理解できた」等の回答が目につきました。